

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月26日

東京機器健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	26249
組合名称	東京機器健康保険組合
形態	総合
業種	機械器具製造業

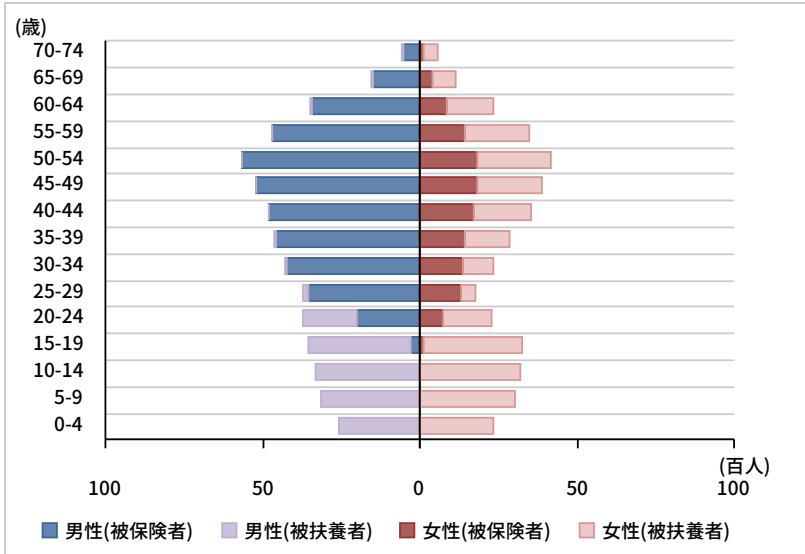
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	53,900名 男性75.7% (平均年齢44.64歳)* 女性24.3% (平均年齢43.54歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	95,900名	-名	-名
適用事業所数	570カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	570カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	92% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

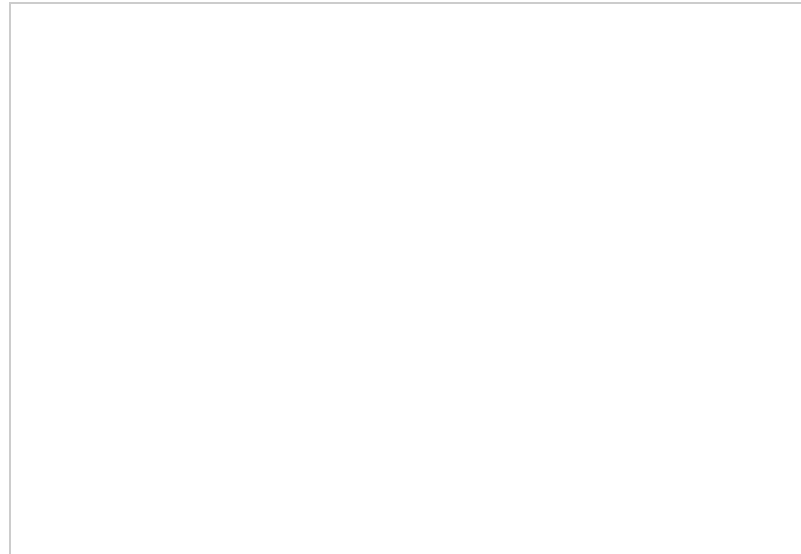
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	34,405 / 42,377 = 81.2 %	
	被保険者	29,423 / 31,545 = 93.3 %	
	被扶養者	4,982 / 10,832 = 46.0 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	754 / 6,698 = 11.3 %	
	被保険者	718 / 6,280 = 11.4 %	
	被扶養者	36 / 418 = 8.6 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	249,113	4,622	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	30,345	563	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	45,921	852	-	-	-	-
	疾病予防費	913,161	16,942	-	-	-	-
	体育奨励費	19,574	363	-	-	-	-
	直営保養所費	124,318	2,306	-	-	-	-
	その他	12,422	230	-	-	-	-
	小計 …a	1,394,854	25,879	0	-	0	-
経常支出合計 …b	32,303,537	599,324	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.32		-	-	-	-	

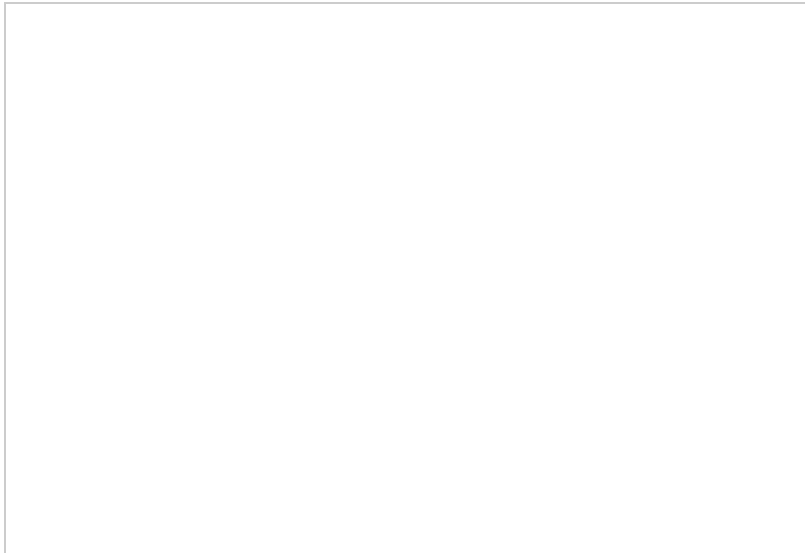
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	311人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,027人	25～29	3,544人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4,201人	35～39	4,568人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4,796人	45～49	5,185人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	5,647人	55～59	4,714人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3,414人	65～69	1,474人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	494人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	112人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	757人	25～29	1,294人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,358人	35～39	1,422人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,708人	45～49	1,837人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,838人	55～59	1,426人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	851人	65～69	379人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	92人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	2,548人	5～9	3,166人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	3,334人	15～19	3,257人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,702人	25～29	158人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	86人	35～39	50人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	28人	45～49	26人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	22人	55～59	18人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	31人	65～69	37人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	52人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	2,360人	5～9	3,044人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	3,190人	15～19	3,156人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,546人	25～29	432人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	976人	35～39	1,449人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,838人	45～49	2,057人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,331人	55～59	2,050人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,458人	65～69	735人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	446人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

・被保険者数約53,500人

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・各種健診や保健指導への参加勧奨が必要である。
- ・通知書の対象、実施回数に限られている。
- ・多くの個人情報あて通知事業を行っている。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康保険委員会
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	柔整照会通知
保健指導宣伝	柔整長期受療者医療費通知
保健指導宣伝	柔整長期受療者啓蒙通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
保健指導宣伝	健康情報ポータルサイト（インセンティブポイント）
保健指導宣伝	チラシ、パンフレット、図書の配布
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導事業
保健指導宣伝	健康寿命延伸に向けたポスター等の配布
保健指導宣伝	健康スコアリングレポート（事業所別レポート）
保健指導宣伝	事業所訪問
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳MRI・肺CT・骨盤MRI
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	定期健診
疾病予防	口腔健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	健康相談（けんぼファミリー健康相談、first call）
疾病予防	健康管理指導図書（わくわく育児）
疾病予防	常備薬品補助金
疾病予防	健診異常値放置者受診勧奨通知
疾病予防	腎受診勧奨通知
疾病予防	生活習慣病治療中断者受診勧奨通知
疾病予防	医師による受診勧奨通知
疾病予防	受診行動適正化指導事業（ポリファーマシー通知、時間外通知）
疾病予防	歯科受診勧奨通知
疾病予防	喫煙者抑制事業
疾病予防	要精密検査（がん検診）受診勧奨通知
疾病予防	セルフメディケーション（OTC）通知
疾病予防	特定保健指導予備軍通知
疾病予防	前期高齢者医療費対策通知
疾病予防	65歳以上の医療費対策通知
体育奨励	体育奨励（野球大会、ウォークラリー、契約プール施設補助金）
直営保養所	保養所

その他	契約保養所
その他	運動場

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1,2,5	健康保険委員会	加入者に対し、健康保険に関する事務ならびに保険診療等の手続の指導及び相談等に当たるほか、広報・宣伝・健康管理ならびに体育奨励等の円滑な運営を推進するために必要な業務を行う。	全て	男女	18～74	基準該当者	1,285	-	-	-	-
	1,2	健康管理事業推進委員会	保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定、実施結果の分析、評価を行い、理事会に対し意見の提出を行う。	全て	男女	18～74	基準該当者	157	-	-	-	-
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	5	機関誌発行	機関誌発行年4回。紙面以外にホームページへの掲載。紙面の工夫。	全て	男女	0～74	加入者全員	9,913	-	-	-	-
	2	医療費通知	医療費通知書年2回発行。	全て	男女	0～74	加入者全員	7,330	-	-	-	-
	2	柔整照会通知	初検者への通知および負傷原因照会通知。	全て	男女	0～74	基準該当者	3,047	-	-	-	-
	2	柔整長期受療者医療費通知	1年間に8回以上受療者に受療案内を年一回送付。	全て	男女	0～74	基準該当者	416	-	-	-	-
	2	柔整長期受療者啓蒙通知	2年間に20回以上受療者に受療案内を年一回送付。	全て	男女	0～74	基準該当者	339	-	-	-	-
	2,7	ジェネリック医薬品促進通知	後発医薬品差額通知や希望カード・シールを年2回送付。健康情報ポータルサイト（ICTプログラム）を利用した後発医薬品差額通知の導入。	全て	男女	0～74	基準該当者	4,735	-	-	-	-
	2,5,7,8	健康情報ポータルサイト（インセンティブポイント）	健康づくりのきっかけとなるよう、登録者へウォークラリーイベント等の目標達成時にインセンティブポイントを付与。健康グッズ等の商品と交換できるインセンティブプログラムを提供。	全て	男女	0～74	被保険者	8,005	-	-	-	-
	1,2,5	チラシ、パンフレット、図書の配布	健康保険制度の理解度向上	全て	男女	18～74	加入者全員	3,460	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	被扶養者の受診率を向上させる。	全て	男女	40～74	加入者全員	249,113	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導事業	対象者の特定保健指導利用の動機付けを強化し、実施率を向上させる。	全て	男女	40～74	加入者全員	30,345	-	-	-	-
	保健指導宣伝	2	健康寿命延伸に向けたポスター等の配布	健康寿命延伸に関するポスターを事業所へ送付し、健康意識の醸成を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	1,030	-	-	-
	2	健康スコアリングレポート (事業所別レポート)	事業所の健康課題を明示し、健康対策への協力・参画を促す。	全て	男女	18～74	-	829	-	-	-	-
	1	事業所訪問	コンサルタントと共に事業所を訪問し、事業所ごとの健康課題を提示し、解決策を提案する。	全て	男女	18～74	加入者全員	1,640	-	-	-	-
疾病予防	3	人間ドック	人間ドックの受診により健康状態の確認と疾病の早期発見、重症化予防に結びつける。	全て	男女	40～74	加入者全員	406,800	-	-	-	-
	3	脳MRI・肺CT・骨盤MRI	疾病の早期発見により重症化予防に努める。	全て	男女	40～74	加入者全員	14,910	-	-	-	-
	3	生活習慣病予防健診	生活習慣病予防健診の受診により健康状態の確認と疾病の早期発見、重症化予防に結びつける。	全て	男女	30～74	加入者全員	398,058	-	-	-	-
	3	定期健診	追加血液検査 (健保負担) を実施することにより、疾病の早期発見を図る。	全て	男女	18～29	被保険者	12,036	-	-	-	-
	3	口腔健診	事業主と共同で、歯科・口腔ケアの関心を高め、歯磨き習慣の定着を図る。口腔セルフケア、歯周病等の早期発見により、生活習慣病の重症化予防を図る。	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	22,790	-	-	-	-
	3	インフルエンザ予防接種補助金	季節性インフルエンザの重症化予防として利用促進を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	37,402	-	-	-	-
	5,6	健康相談 (けんぽファミリー健康相談、first call)	電話およびWebでのメンタルヘルス・健康相談を実施・周知。心理相談員等カウンセラーとのメンタルヘルス相談の実施。	全て	男女	0～74	加入者全員	3,821	-	-	-	-
	5	健康管理指導図書 (わくわく育児)	第一子を出生した対象者全員に1年間育児誌を配布。	全て	女性	18～74	基準該当者	1,227	-	-	-	-
	8	常備薬品補助金	市価より安価での常備薬品を提供し、医療費の削減を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	5,000	-	-	-	-
4	健診異常値放置者受診勧奨通知	血圧、血糖、脂質の健診結果から、医療機関への受診が必要な者へ受診勧奨を実施する。一定期間経過後に受診状況をレセプトで確認し、放置者へは医師からのコメントを記載した受診勧奨通知を実施する。	全て	男女	30～74	基準該当者	962	-	-	-	-	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	4	腎受診勧奨通知	eGFR値、尿蛋白の健診結果から、医療機関への受診が必要な者へ受診勧奨を実施する。	全て	男女	30～74	基準該当者	189	-	-	-	-
	4	生活習慣病治療中断者受診勧奨通知	「糖尿病性腎症等の重症化予防の取組」として、重症化予防プログラム等を参考に実施する。レセプトを確認し、治療中断者へ個別に受診勧奨し、重症化予防を図る。	全て	男女	30～74	基準該当者	123	-	-	-	-
	4	医師による受診勧奨通知	健診異常値放置者受診勧奨通知後、翌年度も対象となった者に通知し、医療機関への受診を促す。	全て	男女	30～74	基準該当者	1,612	-	-	-	-
	2,4	受診行動適正化指導事業（ポリファーマシー通知、時間外通知）	適正な医療機関の受診について通知を行い、医療費の削減を目指す。	全て	男女	0～74	基準該当者	1,464	-	-	-	-
	4	歯科受診勧奨通知	口腔健診後、要医療となったが、歯科に受診していない者に受診勧奨通知を送付。	全て	男女	18～74	基準該当者	174	-	-	-	-
	5	喫煙者抑制事業	喫煙者の減少。	全て	男女	20～74	基準該当者	990	-	-	-	-
	4	要精密検査（がん検診）受診勧奨通知	人間ドック・生活習慣病予防健診の結果から、要精密検査となった者の受診状況を確認し受診勧奨を行う。	全て	男女	30～74	基準該当者	576	-	-	-	-
	2	セルフメディケーション（OTC）通知	対象者の自己負担額及び時間効率の軽減効果を認識させ、医療費の削減を目指す。	全て	男女	0～74	加入者全員	1,331	-	-	-	-
	2	特定保健指導予備軍通知	35歳～39歳の特定保健指導対象者に通知し、40歳到達時、特定保健指導に該当しないよう周知する。	全て	男女	35～39	基準該当者	96	-	-	-	-
	2	前期高齢者医療費対策通知	65歳～69歳の奇数年齢の誕生日に健康に関する情報を提供。	全て	男女	61～69	基準該当者	1,928	-	-	-	-
	2	65歳以上の医療費対策通知	①年度内に61歳、63歳に達する者に健康に関する情報を提供 ②年度内に63歳に達する者に歯科に関する情報を提供 上記を行うことにより、65歳に達した時の医療費削減を目指す。	全て	男女	57～65	基準該当者	827	-	-	-	-
体育奨励	5,8	体育奨励（野球大会、ウォークラリー、契約プール施設補助金）	運動の習慣化を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	19,574	-	-	-	-
直営保養所	8	保養所	保養所利用によるリフレッシュおよび健康増進を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	124,318	-	-	-	-
その他	8	契約保養所	ラフォーレ倶楽部等優良な施設と契約し、被保険者とその家族の多様なニーズに対応する。	全て	男女	0～74	加入者全員	4,500	-	-	-	-
	5	運動場	運動の習慣化を図る。	全て	男女	0～74	加入者全員	6,922	-	-	-	-







注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

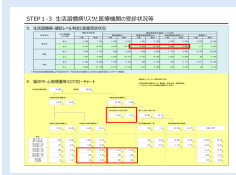

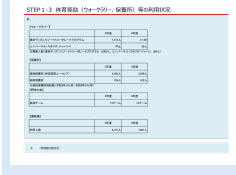

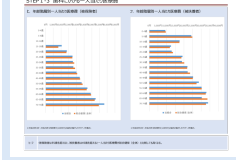
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

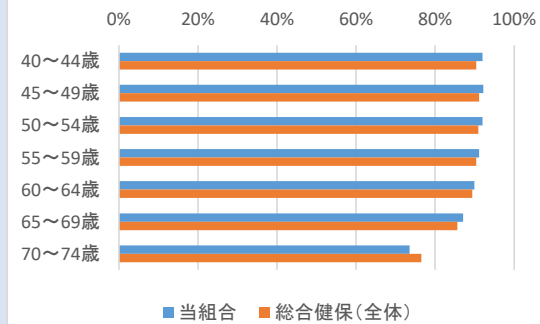
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・特定保健指導実施状況	特定健診分析	-
イ		健康分布図等(被保険者)	特定保健指導分析	-
ウ		健康分布図等(被扶養者)	特定保健指導分析	-
エ		一人当たりの医療費(被保険者)	医療費・患者数分析	-
オ		一人当たりの医療費(被扶養者)	医療費・患者数分析	-
カ		悪性新生物 医療費	医療費・患者数分析	-

<p>キ</p> 	<p>生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>-</p>
<p>ク</p> 	<p>後発医薬品の使用状況</p>	<p>後発医薬品分析</p>	<p>-</p>
<p>ケ</p> 	<p>体育奨励等の利用状況</p>	<p>その他</p>	<p>-</p>
<p>コ</p> 	<p>メンタル系疾患 医療費および傷病手当金</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>-</p>
<p>サ</p> 	<p>歯科にかかる一人当たり医療費</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>-</p>

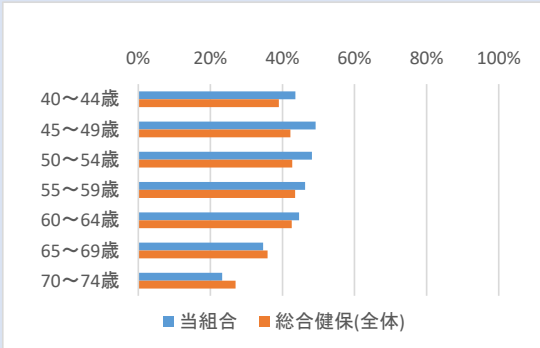
STEP 1 - 3 特定健診・保健指導の実施状況

【特定健康診査の受診率】

ア. 被保険者



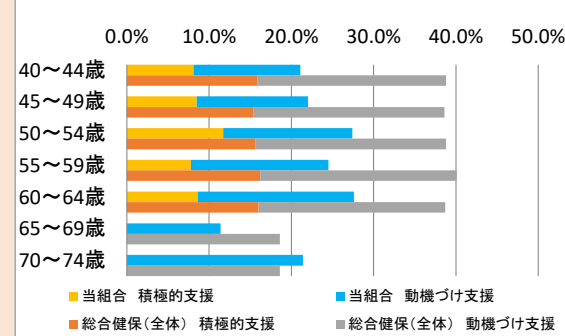
イ. 被扶養者



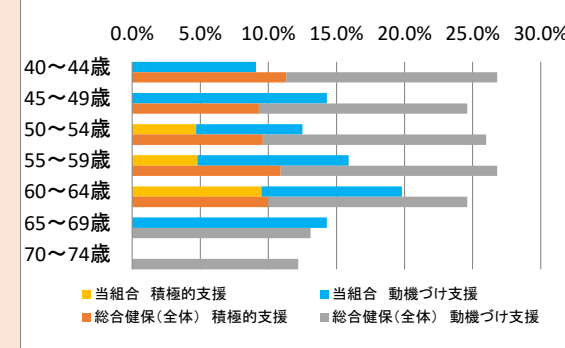
※平成28年度の特定健康診査結果データを集計

【特定保健指導の実施率】

ウ. 被保険者

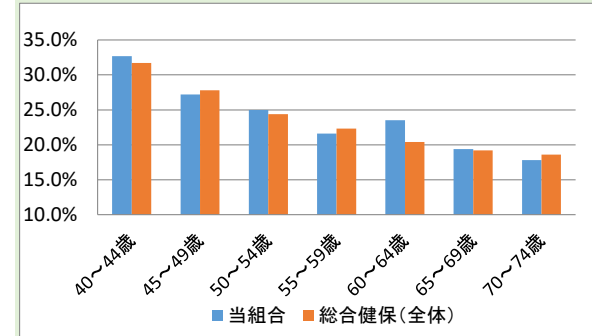


エ. 被扶養者

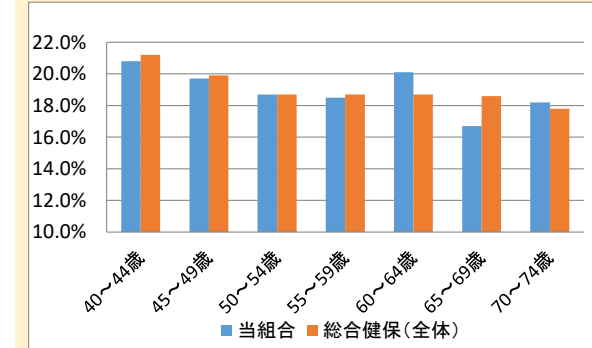


※平成28年度の特定保健指導結果データを集計

オ. メタボリックシンドローム該当者の減少率（被保険者）



カ. 特定保健指導対象者の減少率（被保険者）



※平成28年度の特定健康診査結果データを集計

ア、イ ・特定健康診査の受診率は、被保険者91.1%、被扶養者44.9%であり、被扶養者の受診率が被保険者の受診率の半分以下となっている。ただし、総合健保（全体）よりは高い。
 ・被保険者は70歳以上、被扶養者は65歳以上から総合健保（全体）より受診率が低くなっている。

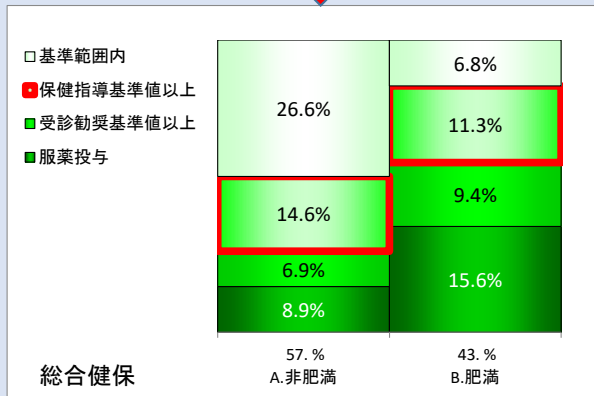
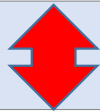
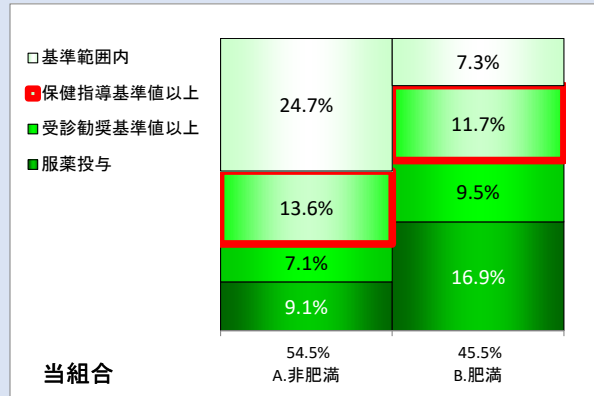
ウ、エ ・特定保健指導実施率は、被保険者及び被扶養者とも実施率は低い。
 ・総合健保（全体）と比較してもかなり低い実施率となっている。

オ ・メタボリックシンドローム該当者の減少率は、総合健保（全体）より高くなっている。

カ ・特定保健指導対象者の減少率は、総合健保（全体）と同等である。

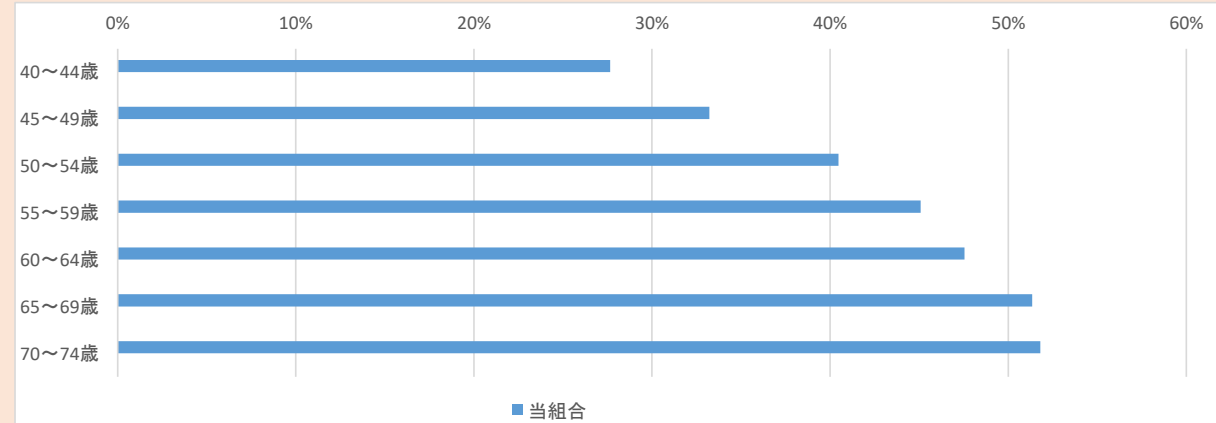
STEP 1 - 3 健康分布図等 <1/2>

キ.【健康分布図 被保険者】

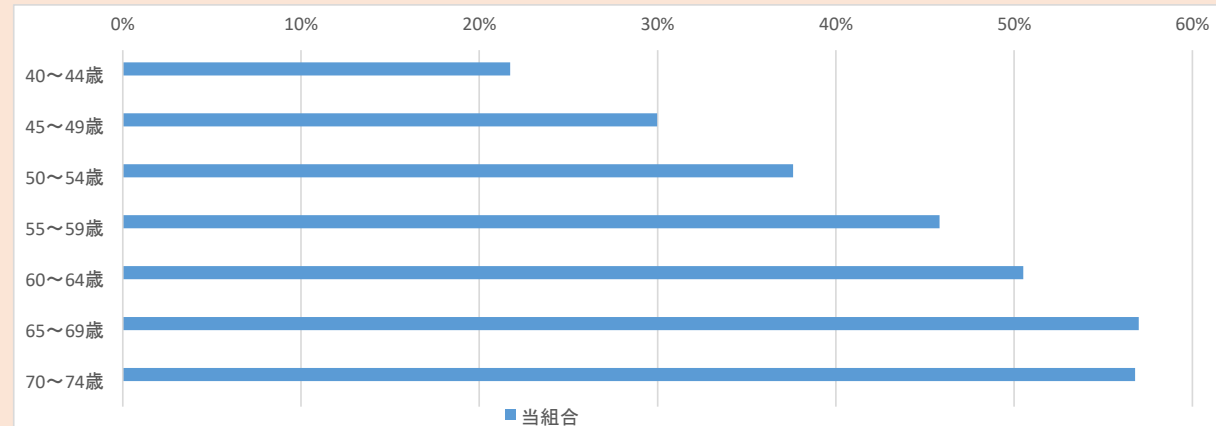


※平成28年度の特定健康診査結果データを集計

ク.【血圧値が保健指導基準値以上の者の割合 被保険者】



ケ.【血糖値が保健指導基準値以上の者の割合 被保険者】



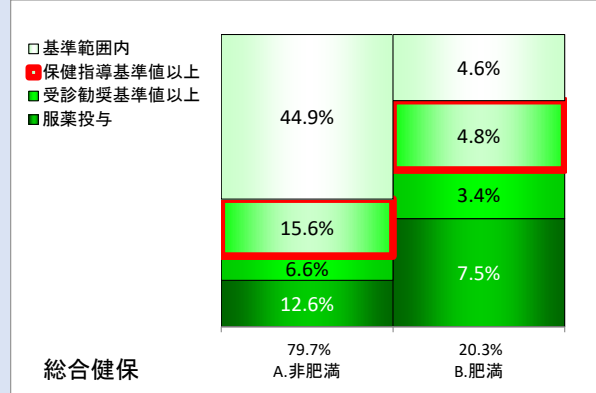
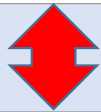
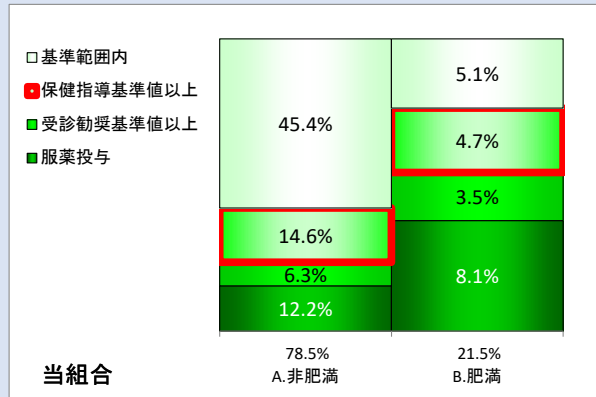
※平成28年度の特定保健指導結果データを集計

キ ・「肥満」、「非肥満」の割合は、総合健保と比較し、若干肥満者が多い。

ク、ケ ・「血圧値」、「血糖値」ともに45歳以上から基準値以上の割合が増加となっている。65歳以上になると特定健診受診者の50%以上が基準値以上となり、保健指導判定値または受診勧奨判定値に該当している。

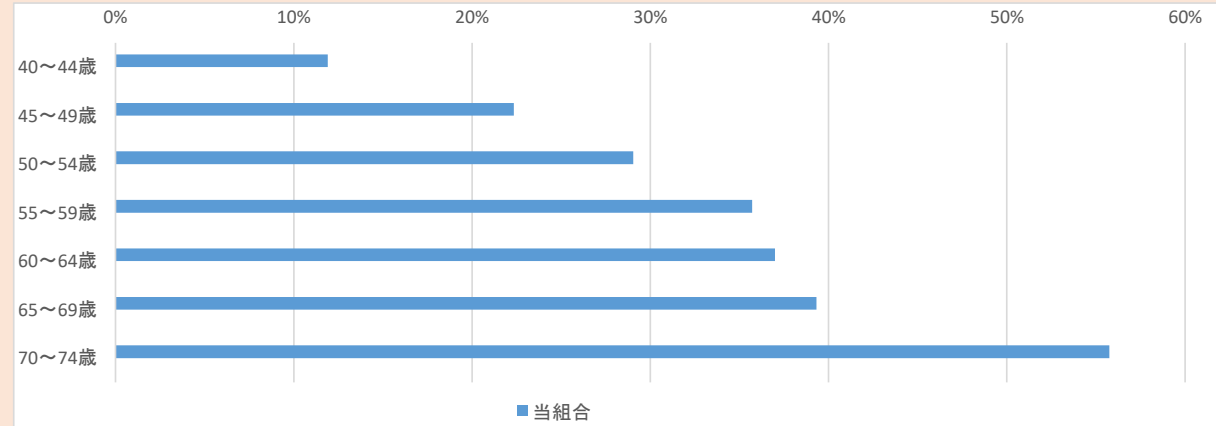
STEP 1 - 3 健康分布図等 <2/2>

コ.【健康分布図 被扶養者】

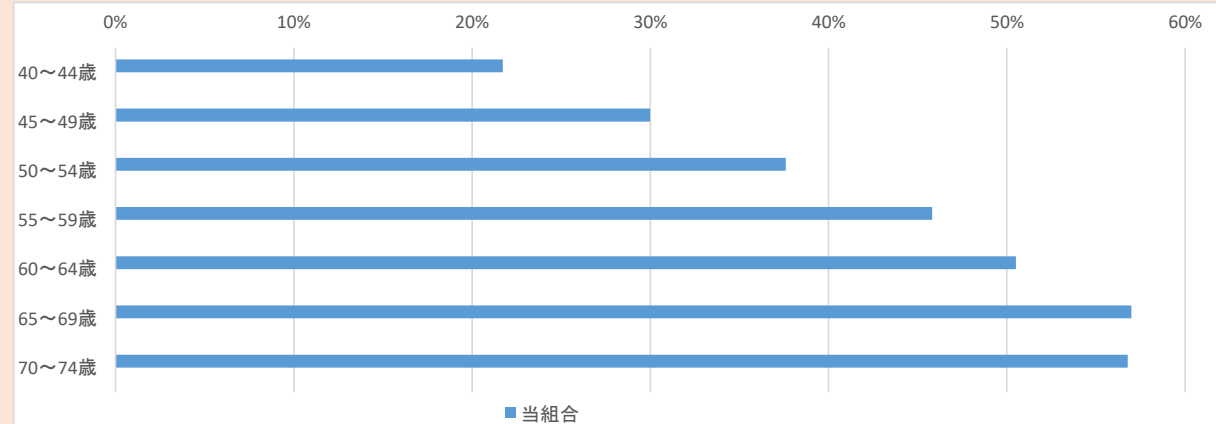


※平成28年度の特定健康診査結果データを集計

サ.【血圧値が保健指導基準値以上の者の割合 被扶養者】



シ.【血糖値が保健指導基準値以上の者の割合 被扶養者】

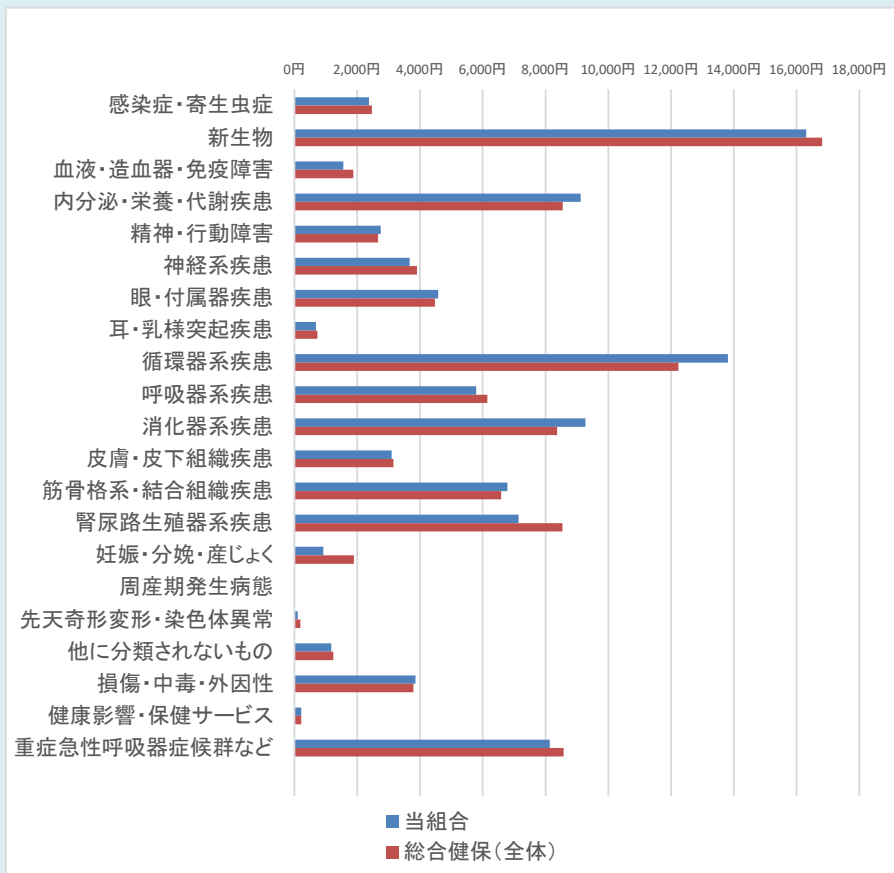


※平成28年度の特定保健指導結果データを集計

- コ ・「肥満」、「非肥満」の割合は、総合健保と比較し、若干肥満者が多い。
- サ、シ ・「血圧値」、「血糖値」ともに45歳以上から基準値以上の割合が増加となっている。血圧値は70歳以上、血糖値は60歳以上になると特定健診受診者の50%以上が基準値以上となり、保健指導判定値または受診勧奨判定値に該当している。

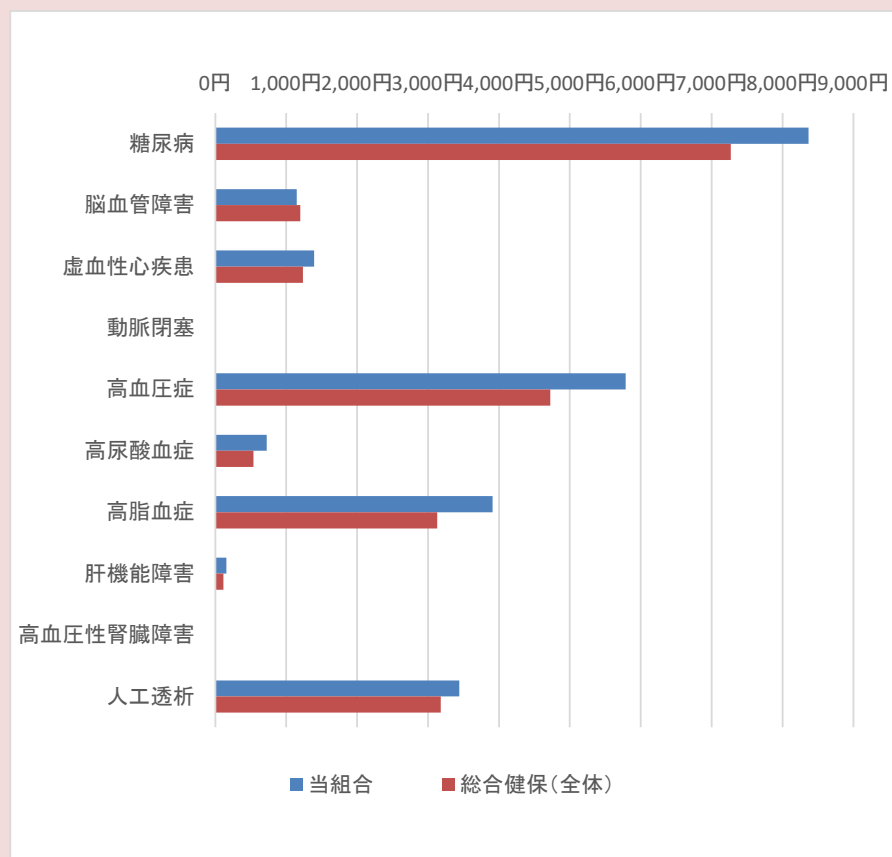
STEP 1-3 一人当たり医療費 <1/2>

ス. 疾病分類別一人当たり医療費（被保険者）



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の医科の電子レセプトデータを集計。

セ. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費（被保険者）

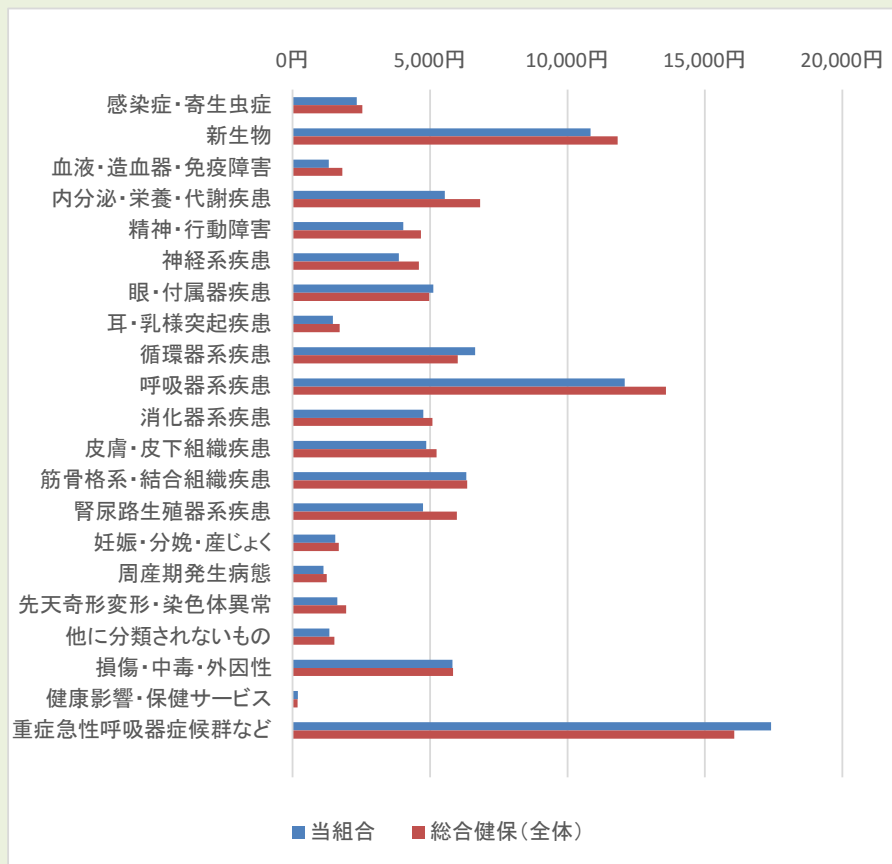


※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の医科の電子レセプトデータを集計。

ス	<p>・疾病分類別一人当たり医療費は、総合健保（全体）と比較してもほぼ同等である。内訳を見ると、「新生物」の一人当たり医療費が16,035円で全体の16.1%を占めている。次いで「循環器系疾患」が13,811円で13.6%を占め、高い水準となっている。</p>
セ	<p>・生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、総合健保（全体）と比較しても高く、「糖尿病」が一人当たり医療費が8,367円で全体の33.6%を占めている。次いで「高血圧症」が5,788円で23.2%となっている。</p>

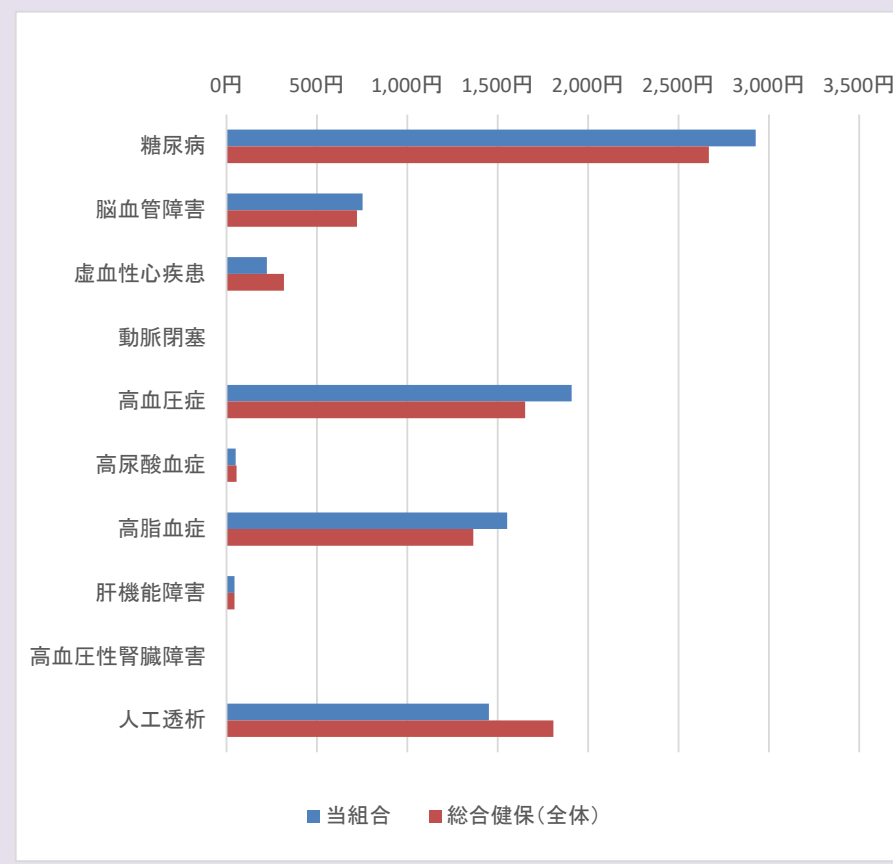
STEP 1-3 一人当たり医療費 <2/2>

ソ. 疾病分類別一人当たり医療費（被扶養者）



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の医科の電子レセプトデータを集計。

タ. 生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費（被扶養者）



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の医科の電子レセプトデータを集計。

ソ

・疾病分類別一人当たり医療費では、子供の風邪による影響が大きいため「重症急性呼吸器症候群」の一人当たり医療費が17,409円で全体の16.9%、「呼吸器系疾患」の一人当たり医療費が12,081円で全体の11.7%を占めており、合計で28.6%と高い割合を占めている。

タ

・生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、他の健保組合と比較しても高く、「糖尿病」が一人当たり医療費が2,927円で全体の32.8%を占めている。次いで「高血圧症」が1,910円で21.4%、となっている。

STEP 1-3 悪性新生物にかかる医療費

子.【被保険者】

	当組合				総合健保(全体)			
	医療費総額(円)	1件当たり日数	1日当たり医療費	人数	医療費総額(円)	1件当たり日数	1日当たり医療費	人数
口唇、口腔・咽頭	12,168,010	2.61	25,780	175	1,269,712,580	2.98	22,802	16,899
消化器	255,229,540	1.80	18,390	7,429	26,824,940,530	1.85	17,633	786,261
呼吸器・胸腔内臓器	106,863,870	2.19	38,248	1,229	10,371,010,550	2.10	32,403	141,775
骨・関節軟骨	113,380	2.10	5,399	9	133,617,700	2.79	18,056	2,467
皮膚	2,224,560	2.14	8,656	120	860,400,710	2.13	21,535	18,301
中皮・軟部組織	5,513,620	2.55	18,947	102	579,370,160	2.98	22,988	7,718
乳房	44,835,340	1.58	26,358	1,035	12,552,689,400	1.76	36,820	180,356
女性生殖器	45,173,890	1.79	19,752	1,255	5,915,181,470	1.76	15,812	205,285
男性生殖器	63,701,420	1.55	17,769	2,248	6,107,964,440	1.60	17,878	203,942
腎尿路	31,739,440	1.99	14,113	1,083	4,171,315,320	1.90	17,713	118,284
眼、脳・中枢神経	16,337,040	2.85	65,875	83	1,183,909,190	3.46	53,848	5,875
甲状腺・内分泌腺	9,549,880	1.41	15,403	432	1,232,207,350	1.53	13,428	58,380

【被扶養者】

	当組合				総合健保(全体)			
	医療費総額(円)	1件当たり日数	1日当たり医療費	人数	医療費総額(円)	1件当たり日数	1日当たり医療費	人数
口唇、口腔・咽頭	1,625,360	3.20	20,317	22	287,044,110	3.02	20,683	4,223
消化器	73,728,850	1.99	14,372	2,479	7,249,337,000	2.02	15,566	220,264
呼吸器・胸腔内臓器	86,705,240	2.40	61,449	563	3,170,443,530	2.24	32,485	40,850
骨・関節軟骨	17,230	3.00	957	6	224,103,810	3.82	30,792	1,676
皮膚	5,618,870	2.35	21,694	107	282,285,550	1.91	15,374	9,423
中皮・軟部組織	1,676,800	3.77	17,110	22	370,715,300	3.39	23,885	4,133
乳房	105,728,620	1.78	31,933	1,774	11,179,027,340	1.83	36,732	154,566
女性生殖器	53,909,400	1.90	17,158	1,602	4,797,594,820	1.90	18,166	133,309
男性生殖器	1,835,690	1.43	16,103	77	203,679,690	2.10	17,067	5,400
腎尿路	7,893,200	1.96	12,162	317	830,739,020	2.06	13,563	28,645
眼、脳・中枢神経	1,019,490	1.43	20,390	35	628,110,470	3.28	39,353	4,516
甲状腺・内分泌腺	10,676,070	1.68	15,208	405	734,942,560	1.62	13,906	31,574

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の調剤の電子レセプトデータを集計。

子

・悪性新生物の患者数は、被保険者で「消化器」が7,429人で全体の48.88%、次いで「男性生殖器」が2,248人で14.79%となっている。
被扶養者は「消化器」で2,479人で全体の33.46%、次いで「乳房」が1,774人で23.94%、「女性生殖器」が1,602で21.62%となっている。

STEP 1-3 生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等

ツ. 生活習慣病・健診レベル判定と医療受診状況

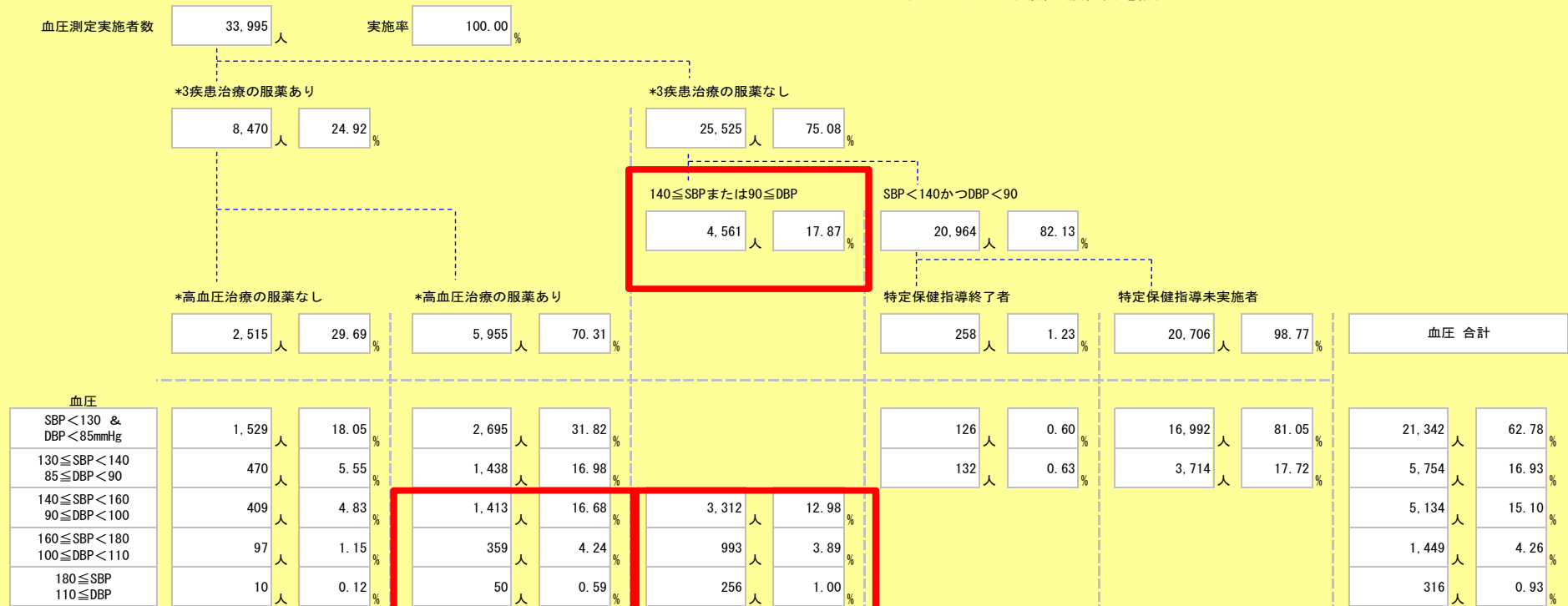
男女区分	生活習慣病 レセ有無	健診非受診者		健診受診者の健診レベル判定							
				基準範囲内		保健指導基準値以上		受診勧奨基準値以上		服薬あり	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男女計	あり	3,320	7.79%	1,932	4.53%	1,801	4.22%	1,505	3.53%	8,370	19.63%
	なし	5,301	12.43%	9,919	23.21%	6,548	15.36%	3,828	8.98%	111	0.26%
男性	あり	1,026	4.15%	904	3.66%	1,246	5.04%	1,127	4.56%	6,159	24.93%
	なし	1,407	5.69%	5,042	20.41%	4,757	19.25%	2,955	11.96%	86	0.35%
女性	あり	2,294	12.80%	1,028	5.73%	555	3.10%	378	2.11%	2,211	12.33%
	なし	3,894	21.72%	4,877	27.21%	1,791	9.99%	873	4.87%	25	0.14%

※平成28年度の健診結果および平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の医科の電子レセプトデータを集計。

テ. 脳卒中・心筋梗塞等リスクフローチャート

*服薬あり/なしは、問診回答で判定

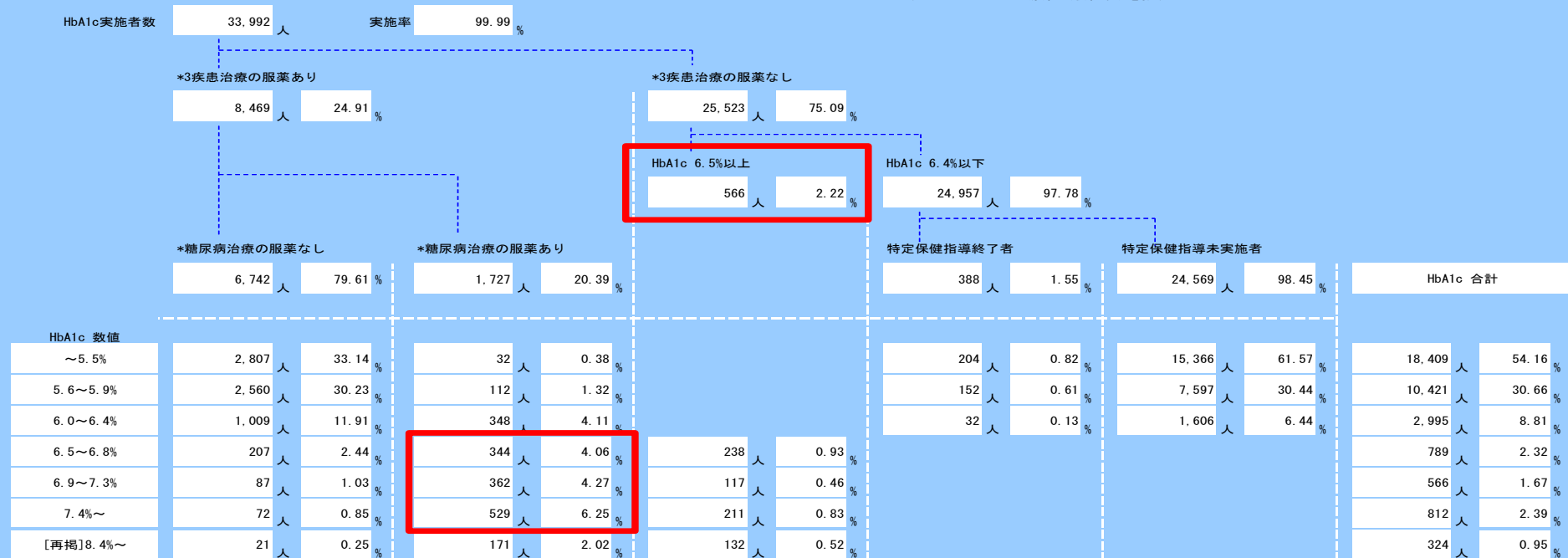
*3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症
いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す



ト. 糖尿病リスクフローチャート

*服薬あり/なしは、問診回答で判定

*3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症
いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す



【リスク分類の見方】

血圧のリスク分類

リスク分類	血圧分類	収縮期血圧		拡張期血圧
基準範囲内 (正常)	至適血圧	< 120	かつ	< 80
	正常血圧	120~129	かつ/または	80~84
保健指導判定値以上	正常高値血圧	130~139	かつ/または	85~89
受診勧奨判定値以上	I度高血圧	140~159	かつ/または	90~99
	II度高血圧	160~179	かつ/または	100~109
	III度高血圧	≥ 180	かつ/または	≥ 110

HbA1c (NGSP) のリスク分類

リスク分類	健診判定値
基準範囲内	~5.5%
保健指導判定値以上	5.6~5.9%
	6.0~6.4%
受診勧奨判定値以上	6.5~6.8%
	6.9~7.3%
	7.4%~

ッ

【早期治療のための受診勧奨】

・受診勧奨基準値以上の者で、生活習慣病に関するレセプトが無い者が多数存在する。

テ・ト

【重症化予防の対象数の把握】

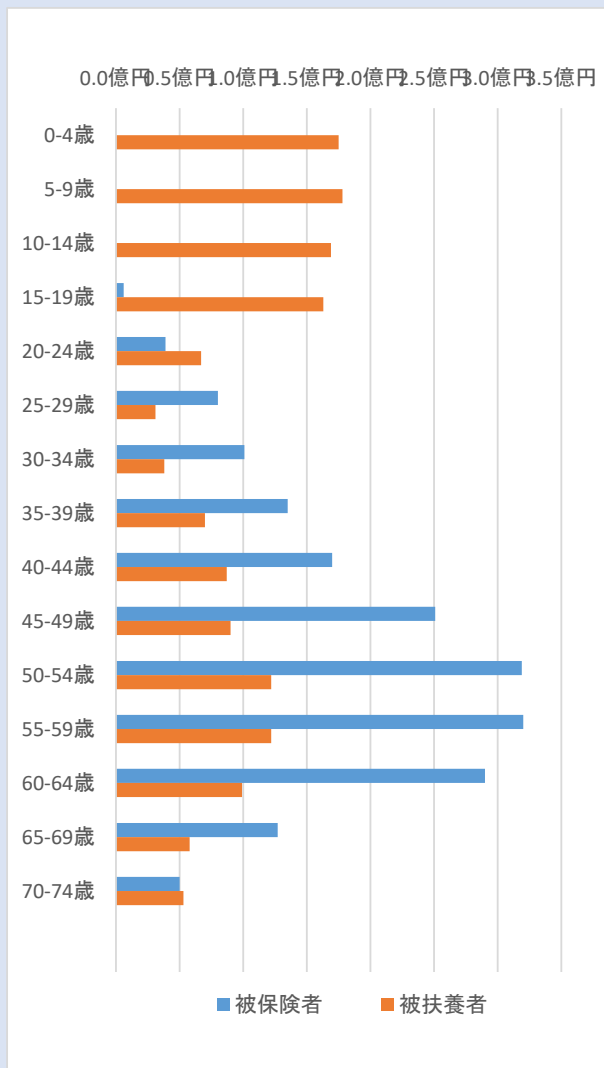
・「高血圧治療の服薬あり」でかつ「受診勧奨基準値以上の者」と「糖尿病治療の服薬あり」でかつ「受診勧奨基準値以上の者」が一定数存在することが確認された。

【早期治療のための受診勧奨】

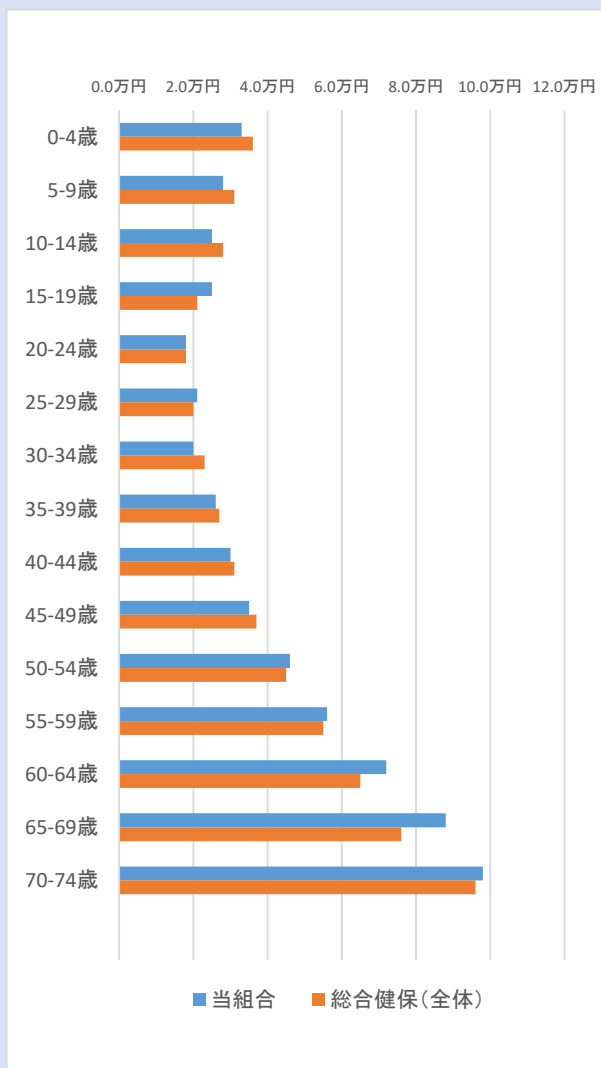
・3疾患での内服治療を受けていない者で、血圧や血糖値が受診勧奨基準値以上の者が多数確認された。

STEP 1 -3 後発医薬品の使用状況

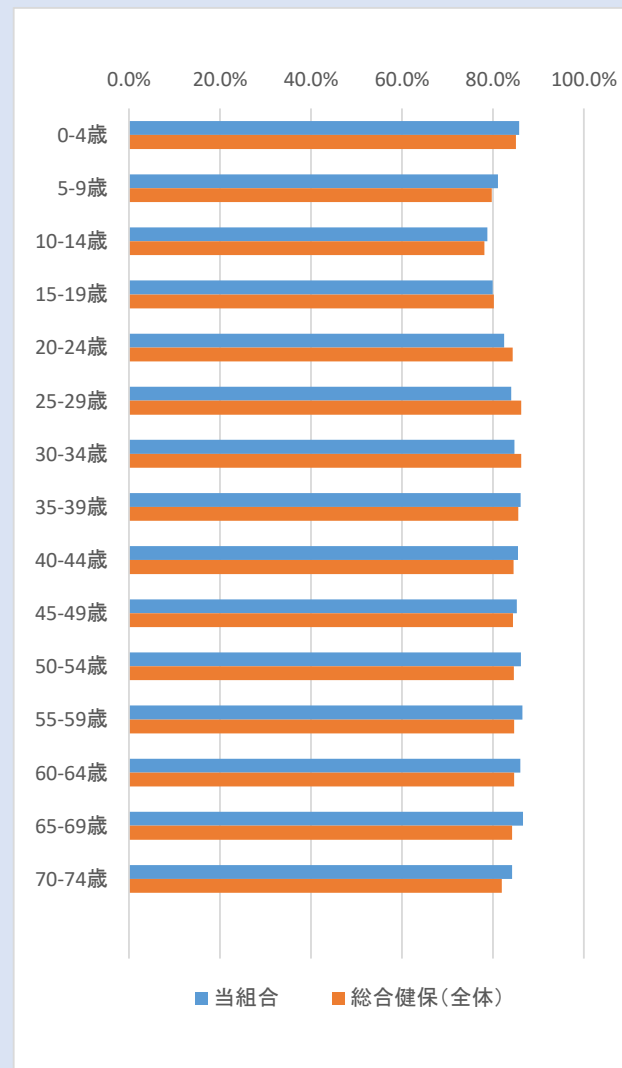
ナ. 調剤費総額



ニ. 加入者 一人当たり調剤



ヌ. 後発医薬品の使用



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の調剤の電子レセプトデータを集計。

ナ.ニ.ヌ

- ・後発医薬品の使用割合は総合健保（全体）と同程度であるが、加入者1人あたりの調剤費が50歳以上で高い。
- ・後発医薬品の普及率は令和4年度年間平均84.95%。

STEP 1-3 体育奨励（ウォークラリー、保養所）等の利用状況

ネ.

【ウォークラリー】

	3年度	4年度
東京ディズニーリゾート®コーポレートプログラム	1,314人	2,195
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®	中止	28人

※募集人数(東京ディズニーリゾート®コーポレートプログラム 6,000人、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 300人)

【保養所】

	3年度	4年度
直営保養所(伊豆高原ユートピア)	2,588人	3,526人
契約保養所	704人	972人

※契約保養所契約数(令和3年14ヶ所、令和4年14ヶ所)

【野球大会】

	3年度	4年度
参加チーム	13チーム	15チーム

【運動場】

	3年度	4年度
利用人数	8,187人	7,891人

ネ ・利用者の固定化

STEP 1-3 メンタル系疾患 医療費および傷病手当金（被保険者）

ノ. メンタル系疾患 医療費三要素（被保険者）

	当組合（被保険者）						全健保組合（被保険者）					
	医療費総額(円)	1人当たり医療費	全組合集計比較指数	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費	医療費総額(円)	1人当たり医療費	全組合集計比較指数	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
アルツハイマー、認知症	87,270	2	0.62	0.49	2.57	1,479	13,857,120	2	0.86	0.27	4.73	1,718
精神作用物質障害	9,819,510	209	1.14	10.16	2.41	8,554	1,027,343,890	161	0.92	10.07	1.93	8,301
統合失調症、妄想障害	28,802,580	614	0.99	40.24	1.90	8,034	3,706,256,350	581	0.94	45.15	1.88	6,864
気分[感情]障害	113,861,470	2,429	0.82	199.07	1.60	7,606	15,984,444,150	2,507	0.86	207.77	1.57	7,679
神経症性、ストレス障害	26,333,710	562	0.92	174.48	1.50	2,142	3,770,962,270	591	0.97	186.01	1.49	2,135
知的障害<精神遅滞>	407,520	9	5.04	0.17	4.63	11,014	12,191,260	2	1.05	0.30	3.18	1,994
他の精神、行動障害	9,358,160	200	0.76	17.05	2.25	5,208	1,781,715,390	279	1.00	24.39	2.18	5,251

ハ. メンタル系疾患 傷病手当金（被保険者）

疾病名	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11件	36件	42件	54件	26件
躁うつ病、うつ病、気分障害	500件	585件	735件	794件	844件
神経症、不安障害、不安神経症	310件	381件	452件	488件	580件
自律神経失調症	28件	34件	46件	49件	20件
合計	849件	1,036件	1,275件	1,385件	1,470件

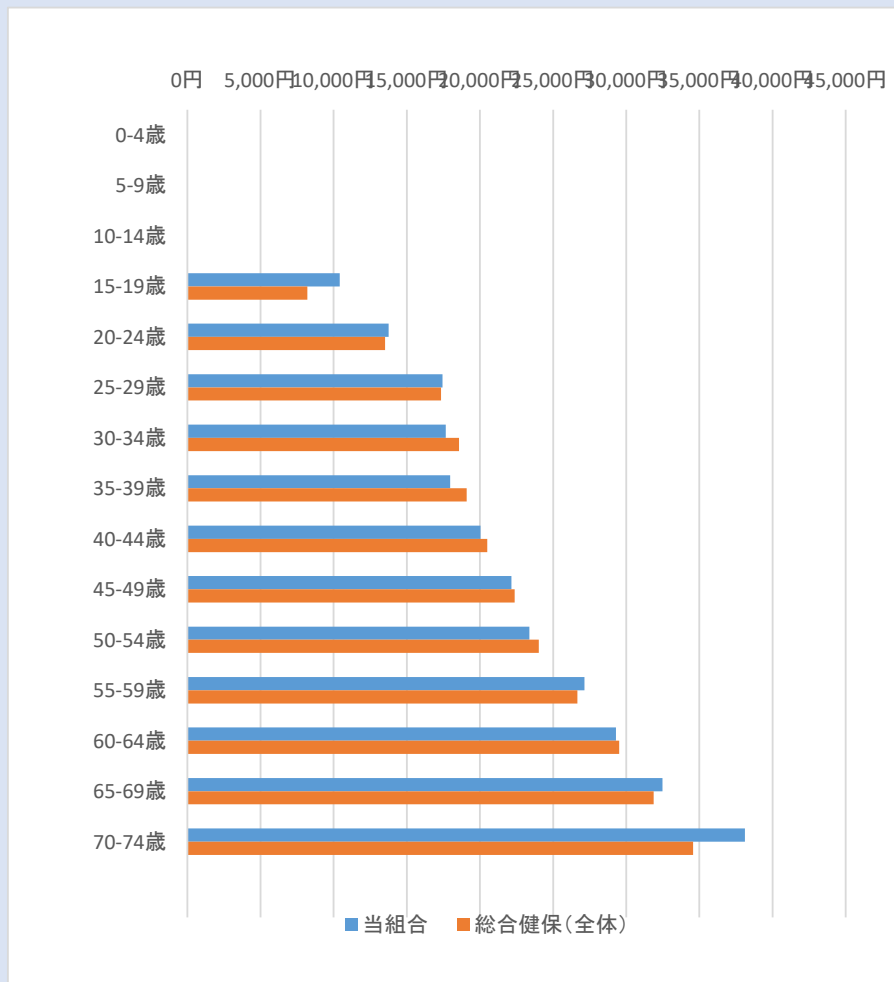
精神疾患の割合	49.59%	51.96%	58.17%	59.85%	49.65%
---------	--------	--------	--------	--------	--------

ノ.ハ

・メンタル系疾患による傷病手当金請求の割合が、50%を超えており年々増加傾向にある。ただし、令和4年度は、精神疾患の請求件数は伸びているものの、コロナ等の請求が多かったため、精神疾患の割合が50%に達しなかった。

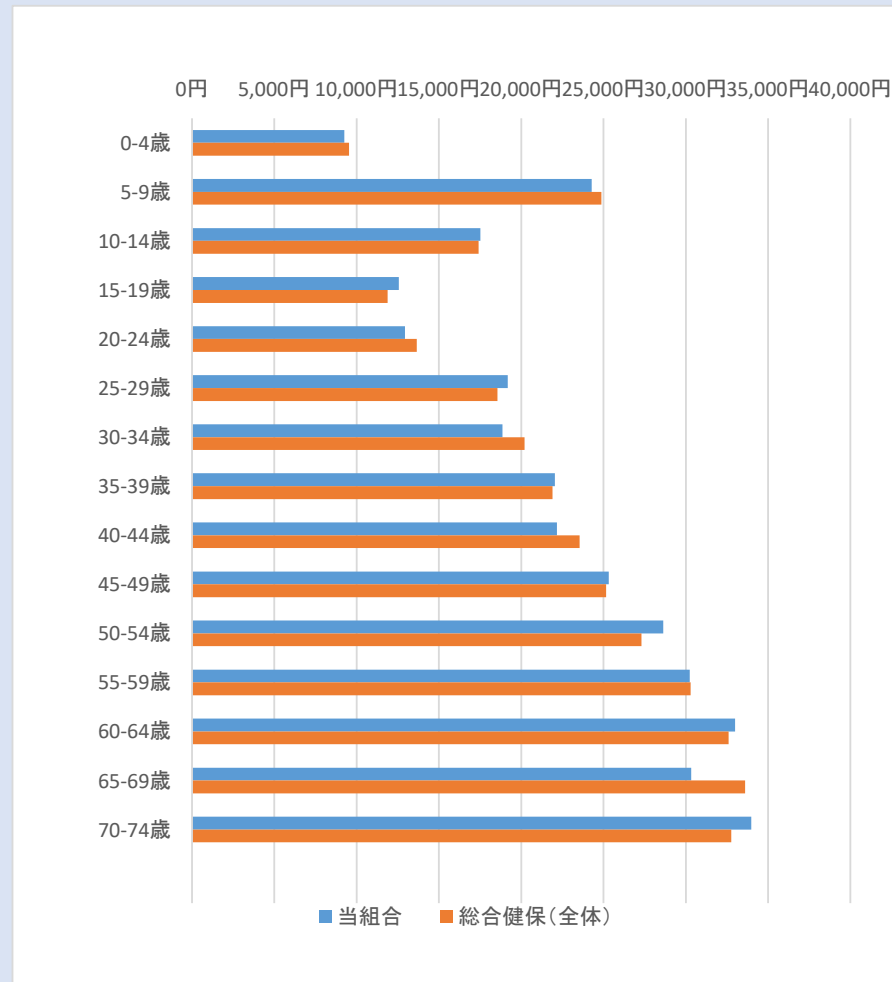
STEP 1 -3 歯科にかかる一人当たり医療費

ヒ. 年齢階層別一人当たり医療費（被保険者）



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の歯科の電子レセプトデータを集計。

フ. 年齢階層別一人当たり医療費（被扶養者）



※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の歯科の電子レセプトデータを集計。

ヒ・フ ・被保険者は55歳を超えると、被扶養者は45歳を超えると一人当たり医療費が総合健保（全体）と比較しても高くなる。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	被扶養者の特定健診受診率が低い。	➔	婦人健診の案内強化。 一定年齢への健診受診勧奨の案内。	
2	ア	特定保健指導の実施率が低い。	➔	事業主との連携体制の強化。 ICTの活用。	
3	エ, オ	疾病分類別医療費は、「循環器系」が総合健保（全体）より高い。また、生活習慣病の医療費は、「糖尿病」「高血圧」が高くなっている。	➔	「糖尿病」「高血圧」は予防対策が可能であり、重症化する前に医療機関への受診勧奨通知を送付。特定保健指導の実施率向上で対応する。	✓
4	カ	悪性新生物は、被保険者、被扶養者とも「消化器」がトップである。	➔	がん検診を積極的に実施し、早期発見、早期治療に努める。	
5	キ	「血圧」「血糖」の基準値以上放置者が多数存在する。	➔	2年連続で基準値以上の者は、医師のコメントを入れた受診勧奨通知を事業所経由で送付し、医療機関への受診を促す。	✓
6	コ	精神疾患の傷病手当金が増加している。	➔	ファミリー健康相談等の相談窓口を継続して行う。	
7	サ	被保険者は55歳以上、被扶養者は45歳以上を超えると歯科医療費が高くなる。	➔	口腔健診の実施及び歯科情報のポピュレーションを行うことで、医療費抑制を図る。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・加入者が多い。 ・事業主が全国に拠点している。	➔	加入者が多く、全国に事業主がいる当組合では、一律に同じことができないことがある。（過疎地に健診機関がない等）
2	・健保組合に専門職が不在。	➔	専門知識が必要な場合は、委託業者等を活用する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	65歳以上の医療費の伸びを抑制する。	➔	65歳になる前に健康についてのポピュレーションを行い、医療費の抑制に努める。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

「高血圧症」や「糖尿病」等の重症化を防ぎ、「人工透析」等の重症疾患への罹患者を減少し、一人当たりの医療費を低減させることを目的とする。

事業全体の目標

「高血圧症」「糖尿病」の医療費を総合健保（全体）より低くする。
 そのために、医療機関への受診勧奨通知を継続して行い、受診率を向上させる。
 また、100名以上の事業所には、事業所レポートを送付し、事業所とのコラボヘルスにより、健康状況の改善を図る。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	健康保険委員会
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	柔整照会通知
保健指導宣伝	柔整長期受療者医療費通知
保健指導宣伝	柔整長期受療者啓蒙通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
保健指導宣伝	健康情報ポータルサイト（インセンティブポイント）
保健指導宣伝	チラシ、パンフレット、図書の配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康寿命延伸に向けたポスター等の配布
保健指導宣伝	健康スコアリングレポート（事業所別レポート）
保健指導宣伝	事業所訪問
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳MRI・肺CT・骨盤MRI
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	定期健診
疾病予防	口腔健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	健康相談（けんぽファミリー健康相談、firstcall）
疾病予防	健康管理指導図書（わくわく育児）
疾病予防	常備薬品補助金
疾病予防	健診異常値放置者受診勧奨事業
疾病予防	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業
疾病予防	医師による受診勧奨通知
疾病予防	受診行動適正化指導事業（ポリファーマシー通知、時間外通知）
疾病予防	歯科受診勧奨事業
疾病予防	喫煙者抑制事業
疾病予防	要精密検査（がん検診）受診勧奨通知
疾病予防	セルフメディケーション（OTC）通知
疾病予防	特定保健指導予備軍通知
疾病予防	前期高齢者医療費対策通知
疾病予防	65歳以上の医療費対策通知
体育奨励	体育奨励（野球大会、ウォークラリー、契約プール施設補助金）
直営保養所	保養所
その他	契約保養所
その他	運動場

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
職場環境の整備																			
保健指導宣伝	1,2	既存	健康保険委員会	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	-	ア	-	1,285	-	-	-	-	加入者に対し、健康保険に関する事務ならびに保険診療等の手続の指導及び相談等にあたるほか、広報・宣伝・健康管理ならびに体育奨励等の円滑な運営を推進するために必要な業務を行なう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
開催回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)3月実施予定												参加者数(【実績値】16人 【目標値】令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)-							
保健指導宣伝	1,2	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	-	ア	-	157	-	-	-	-	保健事業の中長期的にわたる企画立案、実施計画の策定、実施結果の分析、評価を行い、理事会に対し意見の提出を行なう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催
開催回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												(アウトカムは設定されていません)							
加入者への意識づけ																			
保健指導宣伝	2	既存	機関誌発行	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	9,913	-	-	-	-	機関誌発行年4回。紙面以外にホームページへの掲載。紙面の工夫。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行
配布回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-												加入者の意識変容は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)							
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	7,330	-	-	-	-	医療費通知書年2回発行。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知
通知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												加入者の意識変容は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)							
保健指導宣伝	2	既存	柔整照会通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	3,047	-	-	-	-	初検者への通知および負傷原因照会通知。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													毎月通知	毎月通知	毎月通知	毎月通知	毎月通知	毎月通知	毎月通知
照会件数(【実績値】7,644件 【目標値】令和6年度：7,400件 令和7年度：7,400件 令和8年度：7,400件 令和9年度：7,400件 令和10年度：7,400件 令和11年度：7,400件)-												減少率(【実績値】3.6% 【目標値】令和6年度：3% 令和7年度：3% 令和8年度：3% 令和9年度：3% 令和10年度：3% 令和11年度：3%)令和5年度の照会件数との減少率を確認する。							
保健指導宣伝	2	既存	柔整長期受療者医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	416	-	-	-	-	1年間に8ヶ月以上受療している者に年一回送付。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知
送付回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)1年間に8ヶ月以上受診している者に通知												減少率(【実績値】16.9% 【目標値】令和6年度：5% 令和7年度：5% 令和8年度：5% 令和9年度：5% 令和10年度：5% 令和11年度：5%)-							
保健指導宣伝	2	既存	柔整長期受療者啓蒙通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	339	-	-	-	-	2年間に20ヶ月以上受療している者に年一回送付。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知	年1回通知
送付回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												減少率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：5% 令和7年度：5% 令和8年度：5% 令和9年度：5% 令和10年度：5% 令和11年度：5%)-							
保健指導宣伝	2,7	既存	ジェネリック医薬品促進通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	4,735	-	-	-	-	後発薬品差額通知や希望カード・シールを年2回送付。健康情報ポータルサイト（ICTプログラム）を利用した後発薬品差額通知の導入。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知	年2回通知
通知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												普及率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
保健指導宣伝	2	既存	健康情報ポータルサイト（インセンティブポイント）	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ	-	シ	-	8,005	-	-	-	-	健康づくりのきっかけとなるよう、登録者へウォークラリー参加登録時、健診結果等閲覧時にインセンティブポイントを付与。健康グッズ等の商品と交換できるインセンティブプログラムを提供。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。	年2回の広報を行い、登録率の向上を目指す。
広報回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)機関誌、ホームページ等												登録率(【実績値】8% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)ポータルサイトへの登録							
												3,460							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
2	既存	チラシ、パンフレット、図書の配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	算定の手引き等を送付する。	算定の手引き等を送付する。	算定の手引き等を送付する。	算定の手引き等を送付する。	算定の手引き等を送付する。	算定の手引き等を送付する。	医療保険制度の理解度向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
配布率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												加入者の意識変容は測定困難なため(アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	加入者全員	1	サ	-	ア	-	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の自宅宛てに健診案内を送付	被扶養者の受診率を向上させる。	被扶養者の特定健診受診率が低い。
249,113												-								
受診勧奨通知回数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回-												健診受診率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%-								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	1	エ,コ	-	ア	-	I C T等を利用した受診率の向上	I C T等を利用した受診率の向上	I C T等を利用した受診率の向上	I C T等を利用した受診率の向上	I C T等を利用した受診率の向上	I C T等を利用した受診率の向上	対象者の特定保健指導利用の動機付けを強化し、実施率を向上させる。	特定保健指導の実施率が低い。
30,345												-								
通知率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												保健指導実施率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%-								
保健指導宣伝	2,5	既存	健康寿命延伸に向けたポスター等の配布	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	年4回ポスター等を配布	年4回ポスター等を配布	年4回ポスター等を配布	年4回ポスター等を配布	年4回ポスター等を配布	年4回ポスター等を配布	健康に関する情報を提供し、健康寿命延伸を目指す	「血圧」「血糖」の基準値以上放置者が多数存在する。
1,030												-								
通知回数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回-												加入者の意識変容は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
1	既存	健康スコアリングレポート(事業所別レポート)	一部の事業所	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	年1回送付	年1回送付	年1回送付	年1回送付	年1回送付	年1回送付	年1回送付	健康課題を明示することで、必要な健康対策への協力を促す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
829												-								
配布率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												事業所により、健康課題が異なるため。(アウトカムは設定されていません)								
1	既存	事業所訪問	一部の事業所	男女	0～74	加入者全員	3	ス	-	ア	-	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問の案内を実施し、希望事業所に随時実施	事業所訪問を行い、健康企業宣言の実施を促す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
1,640												-								
通知回数【実績値】3回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												訪問事業所数【実績値】5件 【目標値】令和6年度：5件 令和7年度：5件 令和8年度：5件 令和9年度：5件 令和10年度：5件 令和11年度：5件-								
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	加入者全員	1	サ	-	ア	-	特定健診・がん検診を含めて実施	特定健診・がん検診を含めて実施	特定健診・がん検診を含めて実施	特定健診・がん検診を含めて実施	特定健診・がん検診を含めて実施	特定健診・がん検診を含めて実施	人間ドックの受診により健康状態の確認と疾病の早期発見、重症化予防に結びつける。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
406,800												-								
広報回数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												受診者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：18,000人 令和7年度：18,000人 令和8年度：18,000人 令和9年度：18,000人 令和10年度：18,000人 令和11年度：18,000人-								
3	既存	脳MRI・肺CT・骨盤MRI	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ス	-	ア,カ	-	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	広報・実施医療機関の拡大	疾病の早期発見により重症化予防に努める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
14,910												-								
広報回数【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												実施人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1,100人 令和7年度：1,100人 令和8年度：1,100人 令和9年度：1,100人 令和10年度：1,100人 令和11年度：1,100人)								
3	既存	生活習慣病予防健診	全て	男女	30～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	契約健診機関で特定健診・がん検診を含めて実施	生活習慣病健診の受診により健康状態の確認と疾病の早期発見、重症化予防に結びつける。	疾病分類別医療費は、「循環器系」が総合健保(全体)より高い。また、生活習慣病の医療費は、「糖尿病」「高血圧」が高くなっている。	
398,058												-								
広報回数【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												受診人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：30,960人 令和7年度：30,960人 令和8年度：30,960人 令和9年度：30,960人 令和10年度：30,960人 令和11年度：30,960人-								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
3	既存	定期健診	全て	男女	18～29	被保険者	1	ス	-	ア	-	12,036	-	-	-	-	-	追加血液検査（健保負担）を実施することにより、疾病の早期発見を図る。	疾病分類別医療費は、「循環器系」が総合健保（全体）より高い。また、生活習慣病の医療費は、「糖尿病」「高血圧」が高くなっている。				
法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施												法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施	法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施	法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施	法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施	法定検査項目に血液検査（男性・肝機能、女性・貧血）を追加実施	受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：6,800人 令和7年度：6,800人 令和8年度：6,800人 令和9年度：6,800人 令和10年度：6,800人 令和11年度：6,800人)【参考】会計年度人数で集計						
広報回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-																							
3	既存	口腔健診	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ア	-	22,790	-	-	-	-	-	事業主と共同で、歯科・口腔ケアの関心を高め、口腔セルフケア、歯周病等の早期発見により、生活習慣病の重症化予防を図る。	被保険者は55歳以上、被扶養者は45歳以上を超えると歯科医療費が高くなる。				
実施事業所の拡大。												実施事業所の拡大。	実施事業所の拡大。	実施事業所の拡大。	実施事業所の拡大。	実施事業所の拡大。	実施人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：4,300人 令和7年度：4,300人 令和8年度：4,300人 令和9年度：4,300人 令和10年度：4,300人 令和11年度：4,300人)-						
新規事業所数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5件 令和7年度：5件 令和8年度：5件 令和9年度：5件 令和10年度：5件 令和11年度：5件)-																							
8	既存	インフルエンザ予防接種補助金	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	37,402	-	-	-	-	-	季節性インフルエンザの重症化予防として利用促進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
実施健診機関の拡大												実施健診機関の拡大	実施健診機関の拡大	実施健診機関の拡大	実施健診機関の拡大	実施健診機関の拡大	接種者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22,000人 令和7年度：22,000人 令和8年度：22,000人 令和9年度：22,000人 令和10年度：22,000人 令和11年度：22,000人)インフルエンザ予防接種接種者数の増加【参考】会計年度人数で集計						
通知回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-																							
6	既存	健康相談（けんぽファミリー健康相談、firstcall）	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ウ	-	3,821	-	-	-	-	-	電話およびWebでのメンタルヘルス・健康相談を実施・周知。心理相談員等カウンセラーとのメンタルヘルス相談の実施。	精神疾患の傷病手当金が増加している。				
24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。												24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。	24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。	24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。	24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。	24時間対応の電話、Webによる健康相談。メンタルヘルスカウンセリング。	相談件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：600件 令和7年度：600件 令和8年度：600件 令和9年度：600件 令和10年度：600件 令和11年度：600件)-						
広報回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-																							
5	既存	健康管理指導図書（わくわく育児）	全て	女性	18～74	基準該当者	1	ス	-	シ	-	1,226	-	-	-	-	-	情報提供として育児誌の配布。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
第一子出生の対象者に育児誌を配布。												第一子出生の対象者に育児誌を配布。	第一子出生の対象者に育児誌を配布。	第一子出生の対象者に育児誌を配布。	第一子出生の対象者に育児誌を配布。	第一子出生の対象者に育児誌を配布。	子育ての参考にしてもらうため配布しており、事業を実施したことによる成果は特に期待していないため。(アウトカムは設定されていません)						
配布率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-																							
8	既存	常備薬品補助金	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	5,000	-	-	-	-	-	市価より安価での常備薬品を提供し、医療費の削減を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
常備薬品の購入に伴う補助												常備薬品の購入に伴う補助	常備薬品の購入に伴う補助	常備薬品の購入に伴う補助	常備薬品の購入に伴う補助	常備薬品の購入に伴う補助	医療費削減の一環として常備薬配布の補助を行なっているが、購入後の追跡は行なえないため。(アウトカムは設定されていません)						
広報回数(【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-																							
4	既存	健診異常値放置者受診勧奨事業	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	-	ア	-	962	-	-	-	-	-	特定健診の結果から、一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	「血圧」「血糖」の基準値以上放置者が多数存在する。				
「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。												「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	「血圧」「血糖」「脂質」および「eGFR値」が一定基準以上の数値の者へ、医療機関への受診勧奨通知を送付。	医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)対象者の医療機関受診率20%（健診異常値放置者20%減少)						
通知回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-																							
4	既存	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	-	シ	-	123	-	-	-	-	-	レセプトを確認し、治療中断者へ個別に受診勧奨し、重症化予防を図る。	疾病分類別医療費は、「循環器系」が総合健保（全体）より高い。また、生活習慣病の医療費は、「糖尿病」「高血圧」が高くなっている。				
「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。												「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。	「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。	「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。	「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。	「血圧」「血糖」「脂質」で受診した者のうち、一定期間医療機関への受診がない者に通知する。	医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-						
通知回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-																							
4	既存	医師による受診勧奨通知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ	-	ア	-	1,612	-	-	-	-	-	該当者に毎月通知し、早期の治療により、重症化を抑制する。	「血圧」「血糖」の基準値以上放置者が多数存在する。				
健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。												健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。	健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。	健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。	健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。	健診異常値受診勧奨通知後、翌年の健診結果でも受診勧奨基準に該当した者へ、医師による医療機関への受診勧奨通知を送付。	医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-						
通知回数(【実績値】 12回 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-																							
												1,464	-	-	-	-	-						

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
4	既存	受診行動適正化指導事業（ポリファーマシー通知、時間外通知）	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ス	-	ウ	-	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	適正な医療機関へのかかり方について通知等により指導を行う。	重複服薬者、時間外加算の減少。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
通知率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												減少率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)							
4	新規	歯科受診勧奨事業	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ	-	シ	-	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	口腔健診受診後、要医療となった者に、歯科受診勧奨通知を送付。	歯周病等を早期に治療することにより、歯科医療費の削減、生活習慣病の予防を目指す。	被保険者は55歳以上、被扶養者は45歳以上を超えると歯科医療費が高くなる。
通知回数(【実績値】3回 【目標値】令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)												受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)							
5	既存	喫煙者抑制事業	全て	男女	30～74	基準該当者	1	ス	-	シ	-	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	禁煙外来の受診勧奨、喫煙抑制通知の発送。	喫煙者を禁煙を継続し、卒煙させる。	疾病分類別医療費は、「循環器系」が総合健保（全体）より高い。また、生活習慣病の医療費は、「糖尿病」「高血圧」が高くなっている。
通知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												禁煙率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)							
4	新規	要精密検査（がん検診）受診勧奨通知	全て	男女	30～74	基準該当者	1	ウ	-	シ	-	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	がん検診受診後、要治療者等に受診勧奨通知を送付。	医療機関を受診させ、がんの罹患率、重症化を抑制させる。	悪性新生物は、被保険者、被扶養者とも「消化器」がトップである。
通知回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)												受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)							
5	既存	セルフメディケーション（OTC）通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	花粉症薬等の対象者に年1回通知。	医療機関へ受診した場合の自己負担額および時間効率を対象者に認識させ、市販薬を購入させることにより薬剤費の軽減を目指す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
通知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												減少率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)							
5	既存	特定保健指導予備軍通知	全て	男女	35～39	加入者全員	1	ス	-	シ	-	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時、特定保健指導該当者に通知。	40歳到達時に特定保健指導の対象者とならないよう通知し、特定保健指導の該当者を減少させる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
通知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												減少率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)							
5	既存	前期高齢者医療費対策通知	全て	男女	65～69	加入者全員	1	ス	-	シ	-	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65、67、69歳の誕生日に健康に関する情報を提供する。	65歳以上の医療費を抑制する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
通知回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)												加入者の意識変容は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)							
5	既存	65歳以上の医療費対策通知	全て	男女	61～63	加入者全員	1	ス	-	シ	-	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	当年度61、63歳に達した者に健康に関する情報を提供する。	65歳前に健康情報を提供し、65歳以上に到達時の医療費を削減する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
通知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												加入者の意識変容は測定困難なため。(アウトカムは設定されていません)							
体育奨励	5	既存	体育奨励（野球大会、ウォークラリー、契約プール施設補助金）	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	シ	-	18,502	-	-	-	-	-	運動の習慣化を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
												【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用	【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用	【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用	【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用	【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用	【野球大会】春開催【ウォークラリー】コーポレートプログラム利用、USJ【契約プール】夏利用		
広報回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												機関連での広報参加者数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：6,000人 令和7年度：6,000人 令和8年度：6,000人 令和9年度：6,000人 令和10年度：6,000人 令和11年度：6,000人)							
直営保養所	8	既存	保養所	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	シ	-	124,318	-	-	-	-	-	保養所利用によるリフレッシュおよび健康増進を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
												利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。		
広報回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)												利用者数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：4,000人 令和7年度：4,000人 令和8年度：4,000人 令和9年度：4,000人 令和10年度：4,000人 令和11年度：4,000人)							
												4,500	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連											
				対象事業所	性別	年齢						実施計画																	
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度										
その他	8	既存	契約保養所	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	アウトプット指標					アウトカム指標											
													利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	利用者の向上のため、広報を工夫。	ラフォーレ倶楽部等優良な施設と契約し、被保険者とその家族の多様なニーズに対応する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）									
													広報回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-											利用者数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1,000人 令和7年度：1,000人 令和8年度：1,000人 令和9年度：1,000人 令和10年度：1,000人 令和11年度：1,000人)-					
8	既存	運動場	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	6,922	-	-	-	-	-	運動の習慣化を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）										
												広報回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)機関誌での広報											(アウトカムは設定されていません)						
												野球場一面											野球場一面						

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
 注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他